



岩見沢分校の整備を進めてきて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 秋葉, カ メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9034

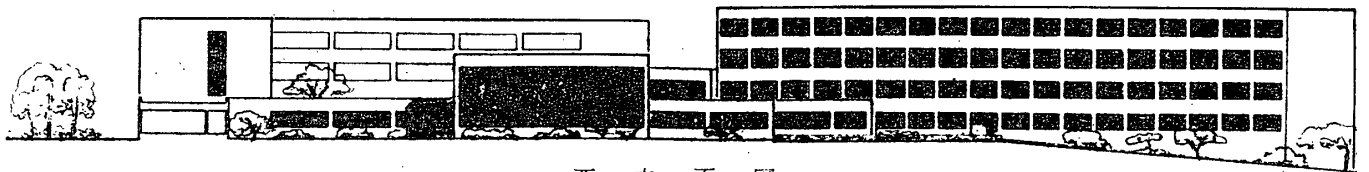
岩見沢分校の整備を進めてきて

秋 葉 力

昭和53年9月13日、文部省内で行われた北海道教育大学（岩見沢分校）計画協議会で、私は少しあがっていたようで、小さなエピソードを残し、2時間もかからないうちに協議会は終わった。多くのことは事前の打合せで、了承されていることであつたらしく、大局からみた平面配置に、2・3再考をうながされたにとどまった。しかし、今大部分の建築が終るなかで、この協議会がいかに重要な会議であつたかを、つくづく思い知らされる。ほとんど全てが、この計画に基づく年次計画に従って行われた。計画が変更になったのは、違う次元から生れた問題のためだけである。掲載した立面図は最初の設計書によるものである。写真と較べていただきたい。

それにしても、52年12月16日に単独整備がきまり、学生自治会と対応しながら、分校は将来構想を急いで策定しなければならなかつた。今後初等教育を主体にする岩見沢分校が、なにを目玉にし、どのような組織にしていくのか明らかでなければ、建築の計画は立たない。おおよその構想が教官会議で討論されている頃、平面配置図の案は書き出され、文部省工事事務所からは、教官会議の見通しを尋ねられる始末だった。ともかく、当初の将来構想に沿った配置図で、建物はでき上がるはずであつた。建築が始まってから、省令定員や厚生補導施設などの変更問題がおきた。大方の建築が終つた現在では、配置に若干の歪みが生じているようである。今後、多くの英知を集めて解決していきたいものである。

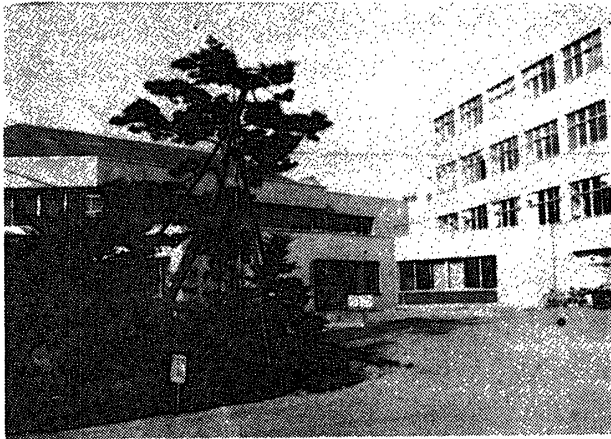
（本分校 教授 前 将来計画委員長）



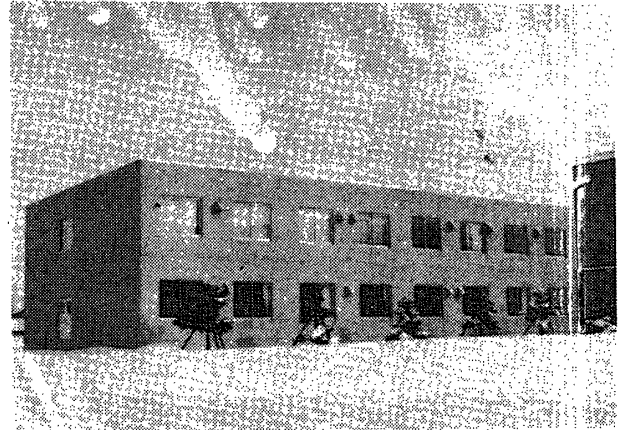
西 立 面 図



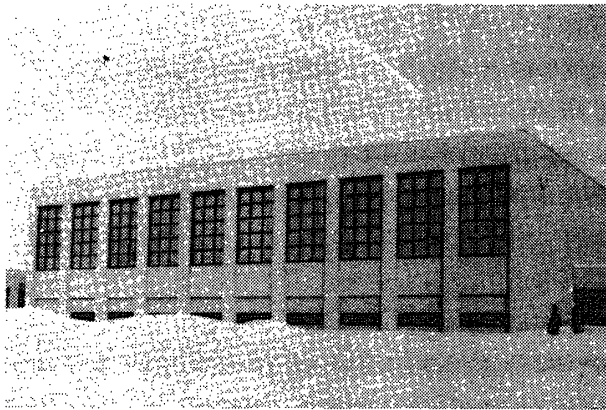
正 門 か ら



正 面 玄 関



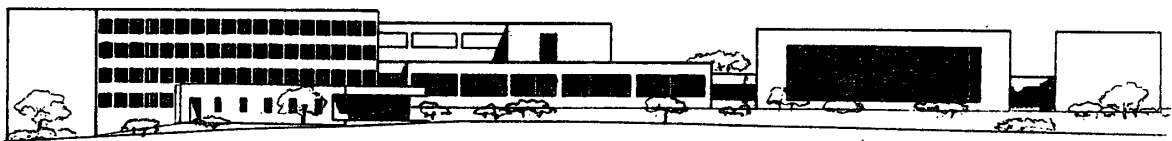
共 同 利 用 研 究 棟



体 育 館



車 庫



南 立 面 図



南 側 か ら

(写真：正面玄関 万亀山貞夫氏、他は太田晶久氏写す)